

第16回定時株主総会 質疑応答要旨

2022年6月23日開催の第16回定時株主総会における質疑応答要旨を開示いたします。なお、質疑応答要旨については、ご理解いただきやすいように表現の変更や加筆・修正を行っています。

Q：営業外収益の受取賃貸料とは何か。

A：当社が千葉県に所有している資産から得ている賃貸料である。

Q：現金及び預金が約40億円と現金が積み上がっており、売掛金を含めると約62億円の当座資産があるが、今後の使途に対する考えを教えてください。

A：中期経営計画で掲げた業績目標の前倒し達成に向けて、魅力的なM&A案件があれば機動的に判断を行い、手元資金を投じたいと考えている。

Q：業界に関わらずM&Aは失敗事例の方が多いため、検討される際は慎重にご判断をいただきたい。

A：適正価格で買収ができるようにデューデリジェンスは徹底して実施する。

Q：現状の株価は会社の実力を表していると思うか。

A：社長である私の個人的な見解として、現在の株価は当社の成長性が反映されておらず、割安であると認識している。足もとの株式市場は様々な世界情勢を受け低調ではあるが、当社としては中期経営計画で定めた戦略を着実に推進し、業績の拡大を通して企業価値及び株主価値を高め、株主の皆様のご期待に応えていきたい。

Q：中間配当はあるか。

A：第16期(2022年3月期)は1株当たり10円の中間配当を実施している。本総会で決議をいただき期末配当の30円を合わせると、年間配当は40円となる。また、第17期(2023年3月期)においても、前期と同様、中間配当10円、期末配当30円を予想している。

Q：第17期(2023年3月期)は採用費の増加により減益予想になっているが、第1四半期までの採用活動の手応えはどうか。

A：第1四半期までの採用数は計画線で推移している。当期はコア事業である建設・プラント技術者派遣事業において、エンジニア1人当たりの採用費の社内基準を引き上げるとともに、年間採用数は前期比+636人増加の1,501人を計画し、前期比約2.5倍の採用費を投入する。業界を問わず、人財の採用競争は激化しているため、コストを掛けた分はしっかりと採用数及び在籍人数の増加につなげていきたい。

以上